

# JAだよりおおがた Oggata

4

APRIL  
2017 No.525

特集

フレッシュミズ・青年部・女性部総会 04



今月の表紙

「春の訪れを告げるふきのとう」

3月22日、JAの給油所から男鹿市野石  
に向かう県道脇で、ふきのとうが顔をのぞか  
せていました。

ふきのとうが春の訪れを告げる頃、大潟村  
でも農作業が本格化します。

## 今月号の主な内容

- 02 あぐりプラザ情報・おおがたな話題
- 03 女性部活動だより
- 06 座談会報告
- 08 いちおし情報・健康百科
- 09 インフォメーション・理事会報告・青年部活動報告と予定・職員人事
- 10 初めてのお誕生日・新採用職員紹介・臨時職員紹介



JAグループ秋田キャッチフレーズ

いいねをいっぱい届けたい

JA大潟村



## 女性部「活動だより」

## ★新役員がスタートしました

今年度からJA女性部長と大潟村婦人会長を分担しますが、今まで同様執行部みんなで、部・会ともに活発に、そしてスムーズに運営されるよう頑張ります。どうぞよろしく願っています。

※新役員の紹介は5ページをご覧ください。

## ★活動報告と各種会議報告

## ◎第38回冬季ふるさと祭り（2月5日）

当日は穏やかな天候で積雪もあり、雪祭りを楽しむには申し分のない日でした。

祭りの最終委員会で、婦人会から会場内全体の「禁煙」をお願いしていました。快く賛同いただき、来場者も協力してくれました。今後のふるさと祭りは「禁煙」を前提に話し合われるよう切に願います。

婦人会の担当は伝承遊びの「陣取り合戦」でした。コース作りの際、雪質は表面が固く中がサラサラで、非常に歩きにくかったです。手伝ってくれたボランティアの男子中学生も「もうダメ!!」と音をあげる始末。実際に遊んでみたのですが、「くたびれた!」というのが本音でした。その後は女の子たちとあやとりをしたのですが、今一つ、子どもたちの心をつかめないものでした。ゲームっ子たちにとっては、いろいろな工夫が必要のようでした。

コース作りの時、道路の側溝が雪に覆われて見えず、足を落とした人がいましたが、本部がすぐ危険回避の対処してくれました。わくわくしたり、ちょっぴり感動させられたりした雪祭りでした。関係者、ボランティアの皆様、大変お疲れ様でした。（浅沼トク子記）

## ◎女性部総会（3月2日）

何十年？振りに出席しました。総会資料に「個人会員について話し合った」という項目があり、内容が知りたいと思いました。正会員と個人会員の違いや役割などについてあやふやな認識のまま甘んじている自分に「いいとこ取り」だけでいいの？という疑問符は常にあります。

活動報告では、近隣の婦人会との交流の中の「大潟村の議会傍聴」に新鮮なときめきを感じました。幅広い情報交換の場としても続いていったらいいな！と思いました。

午後からの講演は『総合口座等の再構築に係る検討・課題等』、『コミュニティデザインによるまちづくり』の内容も“文書”だけではわからない奥深さを感じる（知る）ことができました。最後に「楽しいビンゴゲーム」もありました。（斉藤幸子記）

## ◎加工センター掃除（3月4日）

みそ・豆腐の会で行いました。12月から3カ月間加工センターを使わせていただき、美味しい味噌と豆腐を作ることが出来ました。家族にも美味しい



と喜ばれ大活躍した加工センターです。しばらく加工センターはお休みです。感謝を込め、愛を込め、隅々まできれいにピッカピカにしました。（栢森慶子記）

## ◎ワカメの会（3月14日）

今年も美味しい男鹿のワカメを食べたいとの要望があり、世話係として総会で、19組157.5kgの注文を取りまとめました。

村民センターの調理室で、初めての方は経験ある方から教えてもらいながら作業しました。

芯からワカメを外して、大鍋で湯通しすると、マジックのように黒から鮮やかな緑色に一瞬で変わります。時々「ワァーッ綺麗」と声も上がっていました。作業は大変ですがワカメはとても美味しいので、参加された方は来年もやりたいと話していました。（小澤美智子記）

## ◎エコ・レク部会（3月15日）

部長に山口菜穂子さん、副部長に佐藤光子さんと鈴木みどりさん、会計に形山知恵子さんが選出されました。事業は、バレー大会を11月22日（水）に開くこと、不用衣類の回収を年2回行うこととしました。

29年度第1回目の不用衣類回収は6月下旬から7月上旬に行いますので、着なくなった衣類がありましたら回収日までお家に置いておいてください。村と共催ですので、村の広報でもお知らせします。（鈴木富士子記）

## ◎加工センター運営委員会（3月17日）

28年度の加工センターの実績（豆腐、味噌、委託味噌、共同炊事）の報告がされました。27年度に比べ利用高は伸びており、中でも豆腐加工、委託味噌加工が20%アップとなりました。もっと多くの人に参加できるように、29年度も講習会を設けますのでたくさんご参加ください。

また、機材の耐用年数が過ぎていることで不調もあり、機材の更新をどうするかなど課題を話し合いました。

（栢森慶子・山本嘉子記）

## ◎生活モニター研修（3月17日午前）

潟上市昭和のスーパー「ダイサンCRETA店」に行きました。大型スーパーが近くに複数ある中で、他の「ダイサン」とは違うスタイルで展開し、3年目で軌道にのってきたという説明が牧野副店長からありました。

アレルギーや健康志向に対応した商品の品揃えが豊富で、秋田市・能代市など遠方の客が多いそうです。安さではなく、客の求めているものを大事に、県内の生産者などにもこだわり、店員も客の質問に答えられるよう日々頑張っています。私たちのあぐりプラザにとっても参考になりました。（山本嘉子記）

## ◎生活モニター会議（3月17日午後）

細川忠通専務と相沢公英生活課長も交えて、「ダイサンCRETA店」での研修報告やあぐりプラザへの要望など話し合いました。青果の評判が良くなった、週2回県内産の魚が入荷する、クレジットに対応したレジを1台設置する、配達にも対応している、など頑張っており、28年度は赤字を回避できそうとの報告がありました。

私たちの大事なあぐりプラザですので、よりよくするために気付いたことや要望など、店の投書箱や生活モニターに声をお寄せください。（山本嘉子記）